

2012年4月24日

子どもたちに大人気！待望の京急電車のおもちゃが登場 「プラレール 新1000形ステンレス車」限定販売

京急グッズショップ  KEIKYU GOODS SHOP  おとどけいきゅう 鮫洲店にて 4月27日(金)から先行1,000個販売

京急グループの株式会社京急ステーションコマース（本社：神奈川県横浜市，社長：小泉 雅彦）では、鉄道玩具「プラレール 新1000形ステンレス車」を、京急グッズショップ”おとどけいきゅう” 鮫洲店にて、2012年4月27日（金）から先行販売いたします。

プラレールは、株式会社タカラトミーが50年以上の長きにわたり発売し、男の子を中心に親しまれてきた鉄道玩具です。京急ステーションコマースでは、今までにも4種類の商品を販売してまいりましたが、今回沿線のお子さまを中心としたお客さまから要望の多かった「新1000形ステンレス車」を販売いたします。

新1000形ステンレス車は、5年前の2007年3月以降、導入が進む京急の最新形式で、全車両数約800両のうち約2割にあたる162両が活躍しており、実物ではステンレス製の銀色ながら赤い電車のイメージを残した車体が特徴です。今回販売する商品においても、この特徴を余すことなく再現、リアルながらもかわいらしくデザインしました。沿線のお子さまはもちろん、鉄道ファンのコレクショングッズとしても最適です。なお、おとどけいきゅう鮫洲店で本限定商品をお買い上げのお客さまに”京急プラレールぬりえBOOK”をプレゼント。さらに、5月末までにぬりえを塗ってお持ち頂いたお客さまの中から抽選で100名様（小学生以下に限る）に、ぬりえを入れたオリジナルタンブラーをプレゼントします。詳細は、別紙のとおりです。



子どもたちに大人気 京急電車プラレール

「プラレール 新 1000 形ステンレス車」販売について

1. 商品名 「プラレール 新 1000 形ステンレス車」

2. 商品概要

- (1) 販売価格 2,400 円 (税込)
- (2) 販売個数 12,000 個
- (3) 商品内容 先頭車・中間車・最後尾車の 3 両編成
※電池で専用の線路 (別売) を走ります。



プラレール 新 1000 形ステンレス車

3. 販売開始

- (1) 2012 年 4 月 27 日 (金) おとどけいきゅう鮫洲店にて限定 1,000 個 先行発売
- (2) 2012 年 6 月 1 日 (金) セブンイレブン京急 S t 店, 京急ステーションストア, 上大岡・京急百貨店などで販売

※その他, 各種イベント会場等でも販売する予定です。


5. お客様のお問い合わせ先

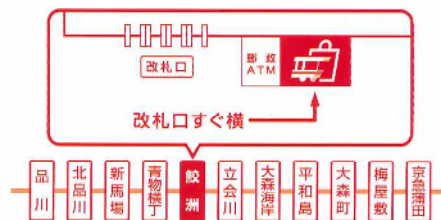
京急ステーションコマース リテール事業部 045-441-6264 (受付 平日 10:00~17:00)
おとどけいきゅう鮫洲店 03-5796-6183 (受付 おとどけいきゅう営業時間内)

6. おとどけいきゅう鮫洲店について

さまざまな京急オリジナルグッズを販売する, 京急電鉄公認のグッズショップで, さまざまな京急グッズのほか, 京急線で使用した鉄道備品なども期間限定で販売しております。

また店内には, 鉄道模型のジオラマなども設置し, お店に来るだけでも鉄道を楽しんでいただける店舗構成となっております。京急ファンだけでなく, お子さま連れでも喜んでいただける店舗を目指しております。

- (1) 店舗名 京急グッズショップ「おとどけいきゅう」鮫洲店 
- (2) 場所 京急線鮫洲駅構内 改札外 (京急線品川駅から普通列車で 4 駅 約 5 分)
- (3) 営業時間 平日 11:00~16:00 土曜・日曜・休日 11:00~18:00
- (4) 定休日 月曜日 (祝日は営業し翌日休業) および年末年始



新 1000 形ステンレス車について

2007 年に、さらなる高性能と高品質をめざして登場した、当社初のステンレス車体を採用した車両です。車体は無塗装ながらカラーフィルムで京急の赤い電車のイメージを表現し、先頭部は普通鋼に赤色の塗装をして従来のスタイルを残しています。室内は車端部をロングシートに変更するとともに側窓を一部開閉可能とし、混雑時の居住性向上をはかりました。引き続きバリアフリー対応をするとともに、乗務員室の背面に非常用脱出はしごを設置しました。乗務員室は運転台を高くするとともに前後に広くし、乗務員の安全性と居住性を向上しました。また、主要機器は国産品を採用しました。2012 年 4 月現在、162 両が活躍しております。



プラレールについて

タカラトミーのロングセラー鉄道玩具「プラレール」は、1959 年にプラレールの原型である「プラスチック汽車・レールセット」が発売されてから半世紀、身近な“鉄道”をテーマに、子どもたちが社会を学び、創造力を育む玩具として愛されています。青いレールを自由につなげて線路をレイアウトし、3 両編成の列車を走らせることが基本の遊び方です。発売当時から現在まで、青いレールの規格は統一されており、現在では親子三世代にわたり親しまれています。日本国内ではこれまでに、累計約 900 種類、1 億 3600 万個以上を販売しているほか、最近では「プラレール」ブランドとしてアパレル、文具雑貨など 500 以上のライセンス商品も発売しています。